

行政視察報告書

令和元年 7月9 日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 東川 三郎 議員 大山 盛久

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】

住 所	鳥取県八頭郡智頭町智頭2072-1
電 話	0858-75-3115
視察案件	智頭町百人委員会について 森の幼稚園 (まるたんぼう) 木の宿場 (やど) プロジェクト
期 日	令和1年 7 月 3日 (水) 13時 30分から15時 00分まで
応 対 者	智頭町議会議長 (谷口 雅人) 議会事務局長 (柴田 睦子) 企画課 (安藤 西尾)
視察状況	上記の通り
訪問施設	智頭町議会委員会室
概 要	<p>百人委員会について</p> <p>1, 百人委員会は、住民自らが知恵と汗を絞り、身近で関心の高い課題を話し合い、これを解決するための提案していく組織であり、智頭町ならではの住民自治の実践をめざしている事業である。</p> <p>2, 大きな特徴として、委員会は単にアイデアをだすだけではなく、予算案も含めて企画提案し、優れた企画に対しては町が事業化することとしており、各部会から提案された企画について、毎年12月に公開の場で町長等執行部と予算折衝を行っている。</p> <p>3, 部会には、商工・観光部会、生活環境部会、健康部会、林業部会、特産農業部会、獣害対策部会、教育・文化部会などがある。</p> <p>4, これまでに (森のようちえん)、(木の宿場プロジェクト) といった智頭町を代表する</p>

	<p>事業が誕生している。</p> <p>森のようちえん</p> <p>智頭町の森をフィールドに活動する屋外保育スタイルで、豊かな自然環境を育ちの場として、子供の自主性を尊重する徹底した見守り保育を実践している。現在は（子育ての場）としてのイメージが大きくアップし、広く町外・県外にまで認知が広がっている。結果としてこの取り組みが多くの子育て世代の方々に認められ、移住人口の増加のつながり、魅力の発信と活性化に大きく寄与している。</p> <p>木の宿場プロジェクト</p> <p>かつては(杉のまち)として名を馳せた智頭町の林業を再生させるため、本町の山を（宝の山）と位置付け、間伐促進による林業再生並びに商店街の活性化に向け、山側から商店街へエール（杉小判）を送り、智頭町全体の活性化につなげることを理念として生まれた取り組み。</p> <p>放置材1トンあたり6千円相当の地域通貨(杉小判)を出荷者に還元し、その地域通貨を利用して買い物をする事で商店街の活性化に貢献している。</p> <p>(百人委員会を通じて予算化した智頭町からの補助金22百円)</p> <p>間伐された木材については、現在は智頭温水プールの熱源として利用され、光熱費の削減に寄与している。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【2】

住 所	鳥取県佐伯郡日吉津村大字日吉津872-15
電 話	0859-27-0211
視察案件	ひえづ版 ネウボラについて
期 日	令和1年7月4日（木）13時30分から 15時00分まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	日吉津村議会委員会室及び ヴィレステひえづ及び 日吉津子育て支援センター
概 要	<p>ひえづ版 ネウボラについて</p> <p>フィンランド方式の子育て支援（アドバイスする場所）全ての親に支援プランを提供す</p>

	<p>る。日吉津村では、福祉保健課内に相談支援のワンストップ拠点である子育て世代包括支援センターを設置。年間に生まれる子ども30～40人の全ての親を対象に保健師が聞き取り調査を行い。パートナーや就労の有無など親の状況に合わせて異なる支援プランを提供する。内容は検診の案内や両親学級、産前・産後のサポートなど。(1) 妊娠～誕生まで、(2) 誕生～就園まで、(3) 就園～就学までの時期ごとにそれぞれ3～4つのプランを用意しているという。</p> <p>また、情報収集が苦手な人にも情報が漏れなくいきわたるように独自のパンフレットの(子育て支援ナビ)を作成。子育て支援施設や医療機関のマップ、各種の経済的支援制度に加え、乳幼児検診や予防接種など時期や回数がバラバラで煩雑な情報が一目でわかるように凝縮して掲載した。</p> <p>日吉津村の場合、自治体の規模が小さいために、さまざまな相談事の窓口が一本化出来ているのも特徴だ。福祉保健課には保健師のほか社会福祉士ら専門職員も常駐しており、同課は(検診など健康に関することから各種の手当やファミリーサポートなどの支援、生活困窮に関する相談まで、子を持つ親の悩みは何でもうけられる)</p> <p>核家族化や過疎化、地域の関わりが薄くなっている中で子育てに余裕を持って取り組める環境づくりが必要になっている。日吉津村のような行き届いた支援がもっと広がるといいと思う。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

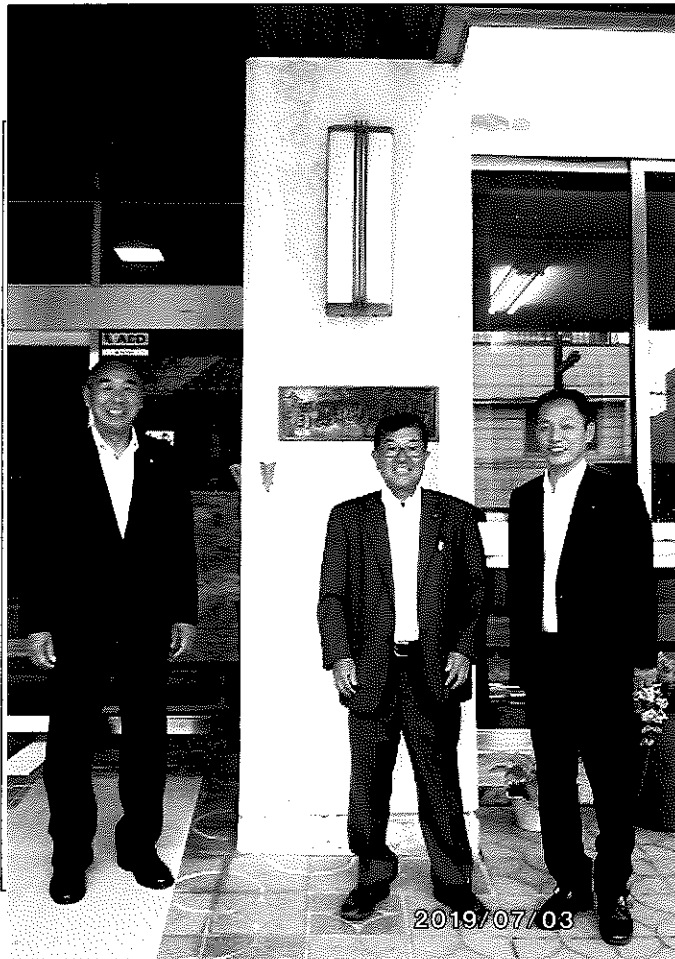
【3】

住 所	鳥取県西伯郡伯耆町吉長37-3
電 話	0859-68-3111
視察案件	使用済み紙おむつ燃料化事業
期 日	令和1年7月5日(金)9時30分から11時30分まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり

訪問施設	伯耆町役場 及び 伯耆町清掃センター 及び 町営温泉施設 (ゆうあいパ ル)
概 要	<p>町は、使用済み紙おむつを加工したペレットを燃料とするボイラーを町営の温泉施設 (岸本温泉ゆうあいパル) に設置。2014年4月8日、工事が完成した。町は独自で地産地消のエネルギーをつくり、ゴミの減量化や二酸化炭素の削減につなげることを目的としている。自治体が紙おむつを燃料として使用するのは、全国で初となる。</p> <p>町は、これまで2つあった焼却炉の老朽化などを理由に1つに集約することになったため、ゴミの減量化を検討していた。特に水分を多く含む紙おむつは燃えにくく、焼却炉への負担が大きいことから、2010年度から鳥取県内のメーカーと共同で、燃料化にむけて実験を進めてきたという。2011年には、紙おむつを乾燥・減菌し細かく砕いたものを円柱状型に固めてペレットにする燃料化装置を町の子供センターに設置した。そして今回、紙おむつのペレットを長時間燃料として使用できるボイラーを輸入・改良し、町営温泉施設に設置。温泉の温度を上げる補助ボイラーとして利用している。</p> <p>燃料源となる紙おむつは、病院や老人福祉施設、保育所など計10カ所から1日約600キロ収集。清掃センターで1日約150キロのペレットが生産されている。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

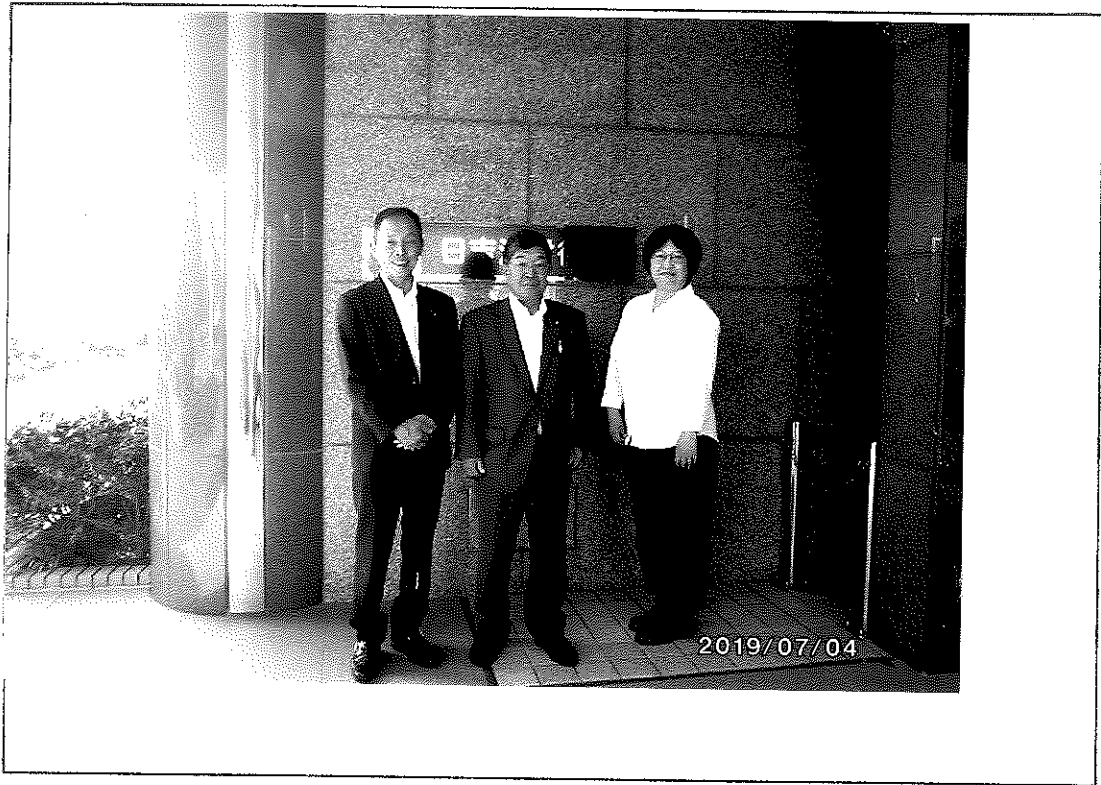
視 察 状 況 写 真

県 市議会関係



鳥取 県

市議会関係 智頭町議会



高取

県

市議会関係 日吉津村委員会





鳥取 県 市議会関係 白書町議会

伯耆町



